

報道関係者 各位

2018年10月24日

株式会社アークノハラ
株式会社近畿日本ツーリスト首都圏
アイサンテクノロジー株式会社
国立大学法人群馬大学

観光目的に特化した「自動運転車試乗体験」を三宅島で実施します

株式会社アークノハラ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：赤川喜和）、株式会社近畿日本ツーリスト首都圏（以下、近畿日本ツーリスト首都圏）、アイサンテクノロジー株式会社（以下、アイサンテクノロジー）、国立大学法人群馬大学（以下、群馬大学）は、東京都および、公益財団法人東京観光財団（以下、東京観光財団）が委託する「島しょ地域交通サービス」事業を受託し、実用化に向けた検証として、「東京の島しょ地域」のひとつである三宅島で自動運転車両を活用したモニターツアーを実施致します。

東京都と東京観光財団では、多摩・島しょ地域への旅行者誘致につなげる取り組みとして、旅行者が観光地を快適に移動できるような交通サービスの整備を推進しており、当該事業を4者が連携して運営する運びとなりました。

「二次交通の課題」、「高齢化問題」、「人手不足対策」等を見据えて、今後の技術革新が見込まれるモビリティを活用し、『旅行者が観光地を快適に移動できる環境を整備し、旅やライフイベントの充実が可能となるサービス』の確立を目指しています。

自動運転車両の試乗会は実用化に向けて各所で開催が始まっていますが、観光目的に特化した実施は、新たな取り組みとなっています。

【モニターツアー実施内容】

自動運転自動車「eCOM-10」（アークノハラ・群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター共同研究体）および「Milee」（アイサンテクノロジー）の二種類の自動運転車両の試乗体験を中心としたモニターツアーを実施します。関係者モニターツアー（出発日12月9日／対象者：三宅村観光関連事業者、旅行会社など）約20名と、抽選で選ばれた一般モニターツアー（出発日12月13日）20名の2回のツアーを実施し、意見交換会やアンケートにより自動運転自動車を活用した観光振興を検証します。

1. 自動運転 EV 観光用モビリティ「eCOM-10（イーコムテン）」

車両は、群馬大学が社会実装研究用に提供する16名定員の国産車両です。アークノハラと群馬大学の共同研究体により三宅島阿古地区約3.2kmのガイド付き観光ツアーを実現します。

ハワイのトロリーバスを彷彿させる観光に適した電気自動車であり、乗り降りが便利なシャトルバス的な活用が想定されます。

本事業でも民宿が密集する阿古地区とふるさとの湯を結ぶシャトルバスとして運行し、溶岩地帯の海岸線を通することで（夜間走行では星空観賞タイムを設定）付加価値を高めめます。



自動運転 EV 観光用モビリティ「eCOM-10（イーコムテン）」イメージ

2. 自動運転EV「Milee（マイリー）」乗車

「Milee」はハンドルやアクセル、ブレーキを一切必要としないラストワンマイル向けの完全自動運転EVです。

今回は三宅村交通公園内での試乗となりますが、将来的には三宅島における巨樹・巨木の森や火山見学など個人旅行に対応した新しい観光商品への利用が期待されます。



自動運転EV ワンマイルモビリティ「Milee（マイリー）」（イメージ）

【一般モニターツアー実施内容】

1. 旅行期間：平成30年12月13日（木）～15日（土） 2泊3日 ※船中1泊・島内1泊
※集合から解散まで添乗員が同行いたします。
2. 宿泊ホテル：ホテル海楽（トイレ付和室）グループ毎に1室（風呂は大浴場利用）
3. コース概要：12月13日（木）／竹芝棧橋（集合）→大型客船「橘丸」特2等寝台（船中泊）
12月14日（金）／（早朝）三宅島（宿泊先で仮眠）→ガイドダンス→以下のプログラムを3グループに分け実施（三宅島（宿泊））
 - ①自動運転自動車観光用モビリティ「eCOM-10」を利用した島内ガイド付き観光ツアー
 - ②自動運転自動車ワンマイルモビリティ「Milee（マイリー）」の試乗体験
 - ③電動アシスト自転車を利用した島内ガイド付き観光ツアー
⇒夕刻「eCOM-10」による星空観賞とふるさとの湯入浴への送迎12月15日（土）／新鼻新山→大路池→富賀神社→七島展望台→出発港→大型客船「橘丸」2等室→竹芝棧橋（解散）
4. モニタープログラム企画：東京都（産業労働局観光部振興課）、公益財団法人東京観光財団

【各社の役割】

- ・株式会社近畿日本ツーリスト首都圏：旅行企画・実施、実施運営、全体調整
- ・アイサンテクノロジー株式会社：車両提供、運営協力
- ・株式会社アークノハラ・国立大学法人群馬大学：車両提供、運営協力

【各社概要】

■会社名 : 株式会社近畿日本ツーリスト首都圏
代表者 : 代表取締役社長 : 田ヶ原 聡
設立 : 2017年11月1日
本社所在地 : 〒163-0236 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 36F
URL : <http://www.knt-metro.co.jp/>

■会社名 : アイサンテクノロジー株式会社
代表者 : 代表取締役社長 加藤 淳
本社所在地 : 愛知県名古屋市中区錦三丁目7番14号 ATビル
設立 : 1970年8月
URL : <http://www.aisantec.co.jp/>

群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センターについて

国立大学法人群馬大学は、次世代自動車産業振興に資する産学官金連携イノベーションの拠点形成をめざし、2016年12月に「次世代モビリティ社会実装研究センター」を設置し、関連分野の企業や自治体、研究機関等との連携・協力関係のもとに地域社会に根付く自動運転による移動サービスの創出に向けた研究と社会実装をめざした活動を進めています。

▼研究センターホームページ

<http://crants.opric.gunma-u.ac.jp/>

株式会社アークノハラについて

株式会社アークノハラは、「安心」「安全」「快適」な街づくりを合い言葉に、道路標識や視線誘導標、歩行者用観光案内標識などのサイン、ガードレール・遮音壁などの安全施設製品について、設計～製造～施工の一環したネットワークを構築してまいりました。これからも交通事業の発展及び環境整備の拡充と、安心安全な街づくりに貢献してまいります。なお、2018年春より、国立大学法人群馬大学と、自動運転車両と道路標識・視線誘導標等との路車間協調に関する共同研究を開始しております。

【会社概要】

株式会社アークノハラ

本社 : 東京都新宿区新宿 1-1-11

設立 : 1987(昭和62)年8月3日

資本金 : 5,000万円

代表取締役社長 : 赤川 喜和

▼会社ホームページ

<https://arc-nohara.co.jp/>

野原ホールディングス株式会社について

2017年、創立70年を迎えた野原グループは、これまで建設業界を中心に建材や鉄鋼関連およびセメントなどの建設資材、道路交通標識などの販売・施工を通して、事業を拡大するとともに、時代の変化に合わせた変革や創造を繰り返しながら成長してきました。

近年は、「Innovation」・「Digitalization」・「Globalization」をキーワードにユニークな事業の創出を目標に掲げております。プロ向け建材通販サイト「アウンワークス」や建設情報のデジタル化を目指す新会社「BIMobject Japan株式会社」、グッドデザイン賞受賞商品のみを販売する国内初のデザインショップ「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」、特別な思いと時間をシェアする場所「レンタルキッチンスペース Patia」、新しい表現を模索する人たちのための、自由な発想に寄り添う壁紙「Wh0」など、新規事業を展開しています。



【会社概要】

野原ホールディングス株式会社

本社：東京都新宿区新宿 1-1-11

設立：2017(平成 29)年 1 月 5 日

資本金：4 億 8,000 万円

代表取締役社長：野原 弘輔

▼会社ホームページ

<https://www.nohara-inc.co.jp>

※本リリースに関するお問い合わせ

野原ホールディングス株式会社社長室（齋藤 中島） TEL：03-6828-1576

（株式会社アークノハラは、野原ホールディングス株式会社のグループ会社です。）

KNT-CTホールディングス株式会社 広報（森川 岩本） TEL：03-6863-0048

（株式会社近畿日本ツーリスト首都圏は、KNT-CTホールディングス株式会社のグループ会社です。）

アイサンテクノロジー株式会社経営管理本部（曾我） TEL：052-950-7500

※本取り組みに関するお問い合わせ

株式会社アークノハラ 営業戦略部企画開発室（安田） TEL：03-33572442

株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 首都圏地域交流部（山川 北見） TEL：03-6863-0891

アイサンテクノロジー株式会社 MMS 事業部（福山） TEL：052-950-3122